

六日小だより

創立 97周年
令和4年 6月 1日
荒川区立第六日暮里小学校
令和4年度 第3号
発行者 島埜 秀男

運動会をステップに成長する～行事の役割～

校長 島埜 秀男

先日は、天気にも恵まれ、六日運動会を実施することができました。ご来校いただき、たくさんの温かいご声援をありがとうございました。感染症対策及び熱中症対応によるご協力に感謝申し上げます。

さて、子供たちの真剣に演技や競技に取り組む姿は、いつ見ても感動します。そこには、当日の華やかな演技や競技に至るまでの児童一人ひとりの努力と先生方の安全面に配慮した的確な指導の積み重ねがあります。同時に家庭での温かな励ましは欠かせません。この間、子供たちも、教員も、ご家庭も運動会に向けていっしょになって取り組んでいる一体感があります。

ご家庭での話題も運動会の話がきっと子供たちから語られることが、多かったと思います。準備のためにご協力していただくこともあり、普段以上に子供との距離が、自然と近くなったのではないのでしょうか。

学校では、それぞれの演技や競技に向けて子供同士が活動し、協力し合うことが多くなります。そして運動会を目標に心も一つになります。また、人との関わりの中で自他を認め合い高め合うことにより大切な社会性を学ぶこともできます。さらに、集団の中での有用感をもちながら豊かな人間性を培うことができます。最後まで頑張る粘り強さを育てたり、できなかったことがみんなの協力のできるようになったりする喜びを味わったりします。これは、貴重な経験となります。子供たちは、学校での思い出を語る時、必ず学校行事のことを話すのは、そこに多くの価値ある経験があるからです。きっと今年の運動会も子供たちの思い出の1ページに刻まれたことと思います。

学校では、運動会に限らず学校行事を通して子供たちが、より豊かな成長ができるように指導しています。

これからもご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

勇気をもって積極的に～思いを行為に～

「こころはだれにも見えないけれど こころづかいは見える」

「思いは見えないけれど 思いやりはだれでも見える」

この詩のフレーズを覚えているでしょうか。東日本大震災が大きな被害をもたらしたときテレビでは、被害を受けた人たちのことを考えてコマーシャルの代わりにACジャパンという団体がつくった映像が繰り返し流されました。その中の一つです。この詩が流された映像では、電車の中で座席に座っていた男子学生が、電車に乗ってきたおなかの大きな女性に席を譲ろうかどうか迷う場面があり、結局、違う席に座っていた若い女性が席を譲りました。そして、その次の場面では、長い石の階段を大変そうに上がっていくおばあちゃんを見たその男子学生が、一度通り過ぎた後に戻ってきて、そのおばあさんに手を貸す姿がありました。この詩は、宮澤章二さんという作詞家の方がつくった詩「行為の意味」をもとにつくられたものだそうです。



この詩の中で宮澤さんは、こころづかひや思いやりが目に見える理由を「人に対する積極的行為だから」と言っています。そしてこの詩は、「あたたかい心が あたたかい行為になり やさしい思いが やさしい行為になるとき、心も思いも初めて美しく生きる それは 人が人として生きることだ」と結んでいます。

人を思いやるそのやさしい気持ちを、勇気をもって積極的に行動として表すことが大切であることを教えてくれています。子供たちが、やさしい思いを行為で表わせることができるように育てたいものです。

〈6月の行事予定〉

日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	水	あじさい月間(始)	15	水	清里移動教室終(5年)
2	木	眼科検診	18	土	授業公開日・下田移動教室説明会
6	月	全校朝会・委員会	20	月	全校朝会・クラブ②
8	水	避難訓練	21	火	あらかわ環境・星空教室(4年)
9	木	歯科検診	27	月	全校朝会・クラブ③
10	金	安全指導・清里移動教室事前検診	30	木	あじさい月間(終)
13	月	全校朝会・清里移動教室始(5年)・水泳指導始			



読書活動について～あじさい月間～

学校図書館主任 飯田 恵美

荒川区は「読書を愛するまち・あらかわ」を宣言し、読書環境の整備や読書活動の推進を行っています。荒川区に異動してきた教員は、学校司書が週5日学校にいることなど荒川区の充実した読書環境に驚く程です。六日小でも学校司書と連携して授業を行ったり、学校独自の学校図書館活用ノートを作成したり、心を豊かにする読書活動を大切にしています。

4月の読書旬間（たんぼぼ旬間）では、ご家庭でも読書環境を整えてくださりありがとうございました。6月は「あじさい月間」を実施いたします。子供達が本に親しむ機会を多くすることで、読書の習慣を継続させるとともに、読書の楽しさを味わわせる1ヶ月になっています。

学校では、ブックバイキング（教職員による読み聞かせ）、ブックメニュー（お話に出てくるメニューが給食で登場します）、お話ポケット（地域ボランティアの方による読み聞かせ）、お気に入りの1冊の紹介、図書委員会による読み聞かせ集会やスタンプラリーの企画などを行います。荒川区では「家読（うちどく）」（家族ふれあい読書の意）を推奨しています。ご家庭でも毎日15分以上の読書ができる環境作りをしていただくと共に、お子さんと一緒に読書に親しみ、本の感想を伝え合うなど読書を通じたコミュニケーションをとっていただけると幸いです。どうぞよろしくお願いたします。

雨の多い季節ですが、本の中では外に出掛けるのも自由です。制約の多い今だからこそ、本を通して伸び伸びと世界を広げていって欲しいと思います。

<あじさい月間>（6月1日（水）～6月30日（木））

低学年 30冊、 中学年600ページ、 高学年800ページ が目標です。

読書カード（水色）に記入します。達成した児童は図書館前に名前を掲示し、賞状をお渡しします。

※感染防止対策のため、保護者の方による読み聞かせは中止いたします。

<年間読書賞> 1年間継続して取り組みます。

低学年150冊、 中学年3000ページ、 高学年4000ページ

達成した児童には、賞状をお渡しします。また、本が1冊多く借りられるようになります。



〔図書館ボランティアについて〕

1学期中にボランティアの募集を再開する予定です。校内のかわいい掲示物はボランティアの保護者の皆様が作成してくださったものです。お問い合わせは随時受け付けておりますので、ぜひ学校にご相談ください。

〔関連 URL〕 ※荒川区役所のホームページに掲載されています。

- ・「読書を愛するまち・あらかわ」を宣言しました

<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a018/toshokan/tosyokanoshirase/dokusyowoaisurumati.html>

- ・「家読（うちどく）」始めてみませんか？ ～「家読」のすすめ～

<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a018/toshokan/tosyokanoshirase/uchidoku.html>

※本を選ぶ際は、「うちリス」も参考にしてみてください。

たんぼぼ旬間では、
多くの児童が
目標を達成しました。
お声掛けありがとうございました！

